

野生動物等からの豚コレラウイルスの侵入防止を徹底しましょう！

9月9日岐阜県の養豚農場で豚コレラの発生が確認され以降、死亡野生いのししでも陽性反応が複数出ています。豚飼養農家の皆様におかれましては裏面を参考の上、以下のことに留意し病原体の侵入防止の徹底をお願いします。

●防疫対策の再徹底●

- ☑消毒による人・車両を介したウイルスの侵入防止対策
- ☑飼育豚の毎日の健康観察による異常豚の早期発見・早期通報
- ☑肉及び肉製品を含み、又は含む可能性のある食品残さの適正使用(摂氏70℃以上30分以上又は摂氏80℃以上3分間以上の加熱処理)
- ☑飼育衛生管理基準の遵守の徹底

青森県には野生いのししはいませんが、岐阜県では次のような対策を行っています。

●飼育豚での発生を早期に摘発するための対策●

死亡野生いのししの確認検査を実施し、その結果が豚コレラを否定できない場合、当該いのししを確保した地点を中心とした半径10キロメートル以内の区域の全ての豚(いのししを含む)飼養農場は、

- ☑家保による立入検査を受け、死亡豚やひね豚等の異状の有無を確認(必要に応じて抗原検査及び血清抗体検査)
- ☑当該いのししを確保した地点の消毒後少なくとも28日間、飼養豚の死亡状況等を定期的に家保へ報告

毎週月曜日には、家畜衛生対策の点検を行いましょう！

飼養している家畜に異状がみられた場合には、直ちに獣医師または家畜保健衛生所に連絡ください。

〒035-0072 むつ市金谷2丁目18-25

電話 0175-22-1254

FAX 0175-22-1259

夜間及び休日の連絡先 090-5841-6810

下北地域県民局地域農林水産部むつ家畜保健衛生所 むつ地区家畜衛生推進協議会

豚コレラの特長症状

- ①うずくまり
 - ②隅に体を寄せ合う
 - ③嗜眠
 - ④目やに
 - ⑤下痢(下痢によるお尻や壁の汚れ)
 - ⑥後躯麻痺(四肢での起立困難)
 - ⑦遊泳運動
 - ⑧死亡するものも現れる
- 〈その他の臨床症状〉
- ・高熱 ・痙攣 ・食欲不振
 - ・経過が進むと体表に紫斑



予防対策の重要ポイント

【衛生管理区域】

